

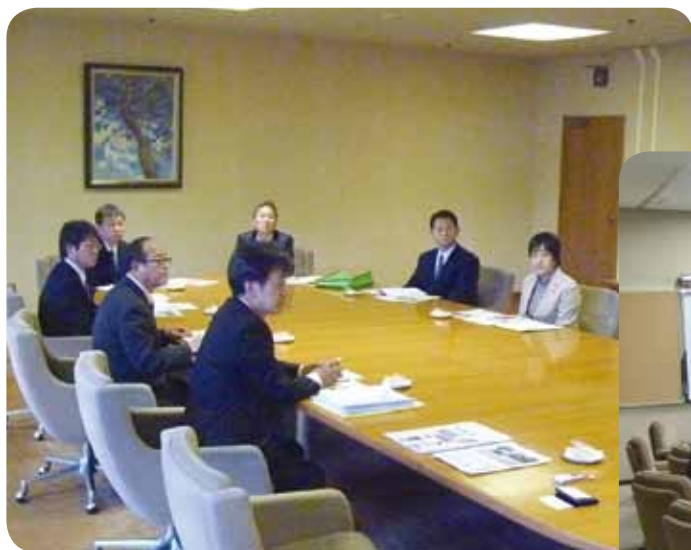
# 市議会だより

## かしば

No.146

# 人・街・暮らし

■発行：香芝市議会 ■編集：香芝市議会だより編集委員会  
■連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎77-8221



### 常任委員会行政視察のようす

左上・「倉敷流ファシリティマネジメントについて」  
岡山県倉敷市（総務企画委員会）

右上・「健康はままつ21の概要について他」  
静岡県浜松市（福祉教育委員会）

左下・「メガソーラーの設置運営事業について」  
愛知県豊橋市（建設水道委員会）

### おもな内容

- 平成27年第1回臨時会の結果…………… 2 P
- 平成26年12月定例会の結果…………… 2～3 P
- 常任委員会の結果と概要…………… 4 P
- 決算特別委員会…………… 5 P
- 一般質問…………… 5～15 P
- 平成27年3月定例会会期予定…………… 16 P
- 議会日誌…………… 16 P

## 平成27年1月第1回臨時会の結果

平成27年1月15日に臨時会を開会し、理事者から提出された2議案を総務企画委員会と福祉教育委員会に付託された後、慎重に審議しました。

《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
議第1号	広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会に関する協議について	原案可決	出席 15名 賛成 13名 反対 2名
議第2号	平成26年度香芝市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	出席 15名 賛成 13名 反対 2名

## 平成26年12月第5回定例会の結果

会期：12月2日～12月18日の17日間

12月議会では、理事者から提出された16議案、議員提出議案4件、そして平成26年9月定例会で継続審査になっていた認第1号の合計21件の議案について、慎重に審議しました。

《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
報第12号	損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	報告受理	
報第13号	香芝市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	報告受理	
承第2号	平成26年度香芝市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告及び承認について	原案承認 (全会一致・出席 15名)	
議第42号	香芝市立幼稚園預かり保育条例を制定することについて	原案可決 (全会一致・出席 15名)	
議第43号	香芝市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を制定することについて	原案可決	出席 15名 賛成 13名 反対 2名
議第44号	香芝市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例を制定することについて	原案可決 (全会一致・出席 15名)	
議第45号	香芝市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例を制定することについて	原案可決	出席 15名 賛成 14名 反対 1名
議第46号	香芝市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の全部を改正することについて	撤回承認	
議第47号	香芝市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決	出席 15名 賛成 12名 反対 3名

## 《理事者提出議案》

議案番号	議案	審議の結果(議長を除く)	
議第48号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第49号	香芝市国民健康保険条例の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第50号	平成26年度香芝市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第51号	平成26年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第52号	平成26年度香芝市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	出席15名 賛成13名 反対2名
議第53号	平成26年度香芝市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
議第54号	平成26年度香芝市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決 (全会一致・出席15名)	
認第1号 (継続審査)	平成25年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	出席15名 賛成13名 反対2名

## 《議員提出議案》

議案番号	議案	提出者	審議の結果(議長を除く)	
意見書 第14号	地域の中小企業振興策を求める意見書	上田井良二	原案否決	出席15名 賛成5名 反対10名
意見書 第15号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書	中井 政友	原案可決	出席15名 賛成12名 反対3名
請願第2号	精神障害者医療費助成制度の適用対象に関する請願書		採択 (全会一致・出席15名)	
決議第6号 (追加議案)	平成25年度香芝市一般会計歳入歳出決算に対する附帯決議	川田 裕	原案可決 (全会一致・出席15名)	

## 主な議案内容と委員会審査の概要 (平成26年12月議会)

### 議第42号 香芝市立幼稚園預かり保育条例を制定することについて

#### 【議案内容】

平成27年度より、市立幼稚園の教育時間外の時間に、在園する幼児の保護者の就労や子育てを支援し、幼児の健やかな成長を図ることを目的に、関屋幼稚園と鎌田幼稚園で預かり保育を実施するため条例を制定する。なお、保育料は1回あたり300円とする。

#### 【審査の概要】

【質疑】 預かり保育の定員は、なぜ20名なのか。

【答弁】 空調設備のある保育室を予定しており、預かり保育が3歳から5歳までの混合保育のため、安全性を考慮して20名とした。

### 議第43号 香芝市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を制定することについて

#### 【議案内容】

厚生労働省令で定められている指定介護予防支援等の事業の人員及び運営、並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を条例で制定する。

#### 【審査の概要】

【質疑】 この条例を制定することにより、どのような効果があるのか。

【答弁】 地域包括支援センターが、指定介護予防支援事業所の機能を果たし、要支援者の自立に向けて、利用者にもふさわしいケアプランの作成に効果がある。

### 議第45号 香芝市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例を制定することについて

#### 【議案内容】

奈良県が行う急傾斜地崩壊対策事業について、地方財政法の規定により、本市が負担する経費の一部にあてるため、当該事業により利益を受ける者から、分担金を徴収するため条例を制定する。

#### 【審査の概要】

【質疑】 この事業は県の事業だと思うが、なぜ費用負担も含めて市で条例制定を行うのか。

【答弁】 急傾斜地法の受益者負担の条例は、都道府県の条例で定めるのが基本であるが、地方財政法により、市町村に対して事業経費の一部を負担させることができるので、受益者にその一部負担を求めるためである。

### 議第48号 香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて

#### 【議案内容】

人事院勧告に基づき、国家公務員の一般職の給与に関する法律等が改正されたことに伴い、給料表の改正、通動手当の支給額の増額、地域手当率の改正等を行う。

#### 【審査の概要】

【質疑】 平成27年度から、一般職の職員の給与が引き下げられると聞いているが、その内容について。

【答弁】 人事院が全国の給与調査をした結果、都市部と地方との格差があることから、平均2%の引き下げが必要との勧告が出ている。

### 議第50号 平成26年度香芝市一般会計補正予算(第4号)について

#### 【議案内容】

主に、庁舎耐震補強等改修工事で1億4,580万円、五位堂駅前北第二土地区画整理事業工事で2,500万円などを増額し、中学校給食センター設計委託料などで3,289万5千円を減額する。

#### 【審査の概要】

【質疑】 中学校給食センターの設計委託料は減額されているが、中学校配膳室等改修工事費は、なぜ減額されていないのか。

【答弁】 中学校の配膳室やエレベーター工事は、給食を受ける側の中学校の整備が必要であり、広陵町との合同で給食センターを建設していく協議が整えば、直ちに工事着工ができるように予算部分は残している。



## 決算特別委員会

12月9日(火) 開会

平成26年9月定例会において、継続審査となっていた認第1号について決算特別委員会を開催し審査を行った。同委員会では、監査結果報告の項目ごとに審査が行われ、賛成多数により認定された。

また、本会議において認第1号に対して附帯決議の動議が提出され、全会一致で可決された。

### 主な委員会審査の概要

#### ・臨床心理事業について

(質疑) 減免については、何の根拠に基づいて行っているのか。

(答弁) 現在は、市長決裁で実施要領を定め、その中で利用者負担や減免規定を明記している。今後については、条例化も含めて、関係機関の意見も聞いて、十分検討していきたい。

#### ・デマンド交通事業について

(質疑) デマンド交通の運賃収入について、監査結果では、市の公金でないと指摘されているが、今後どのように改善していくのか。

(答弁) 平成26年度は、業務委託契約及び仕様書を変更し、運賃収入は受託者の収入とし、委託料から運賃収入相当額を差し引き、清算して受託者に支払いたいと考えている。また、来年度から本格運行になるので、運行区域や利用対象者などを、条例で定めていきたい。

(質疑) 平成25年度の運賃収入は市の公金ではないということであるが、今後の手続きはどのように考えているのか。

(答弁) 平成25年度については、我々の勘違いしていた部分を委託先に説明し、納得していただいたうえで修正したいと考えている。

- 小西 高吉  
青少年健全育成について
- 安全・安心のまちづくりについて
- 下村 佳史  
安心して、やすらぎを感じる事ができるまちについて
- 高齢者福祉の充実について
- 川田 裕  
規則で定められた選挙基準も設けず職員昇任試験を行っている運用不備について
- 人口減少に対し香芝市の将来ビジョンについて
- 請願可決の取り組みについて
- 奥山 隆俊  
災害医療について
- 学童保育について
- 中井 政友  
市役所の窓口業務委託実施について
- 河杉 博之  
市民サービスの向上について
- 市民協働について

### 一般質問 質問者・項目

12月定例会の一般質問は12月15日から16日に行われ、13人の議員が市政全般にわたり市の見解をいただきました。その内容は次のとおりです。

(掲載は質問順)

#### ● 福岡 憲宏

- 公共施設の資産管理について
- アレルギー対策について
- 平成21年に採択された香芝市学童保育所に  
関する請願書について

#### ● 池田 英子

- 合同での中学校給食センターについて
- 総務企画委員会の視察について
- 観光プロジェクトについて

#### ● 中村 良路

- 本市で様々な分野で活躍する人について
- 市の図書の返却について

#### ● 関 義秀

- 二上地区の教育・保育の環境について
- 土砂災害について

#### ● 細井 宏純

- 小規模校(鎌田小学校)と過大規模校(旭ヶ丘小学校)について
- 子宮頸がんワクチンの副反応(副作用)について

#### ● 中山 武彦

- 地域防災体制について
- 動物愛護について

#### ● 上田井 良二

- 猛暑対策について
- 教育支援について

※質問者の項目のなかで、掲載していない部分や詳細は、香芝市議会のホームページに掲載予定です。

小西 高吉 議員

▼青少年健全育成について

〔問〕 学校環境に関して、現在の各学校のトイレの洋式化率については、どのような状況なのか。

〔教育部次長〕 トイレの洋式化率は、小学校が41%、中学校が30・2%、幼稚園が63・6%である。

〔問〕 トイレの洋式化について、今後の改修計画はどのように考えているのか。

〔教育部次長〕 平成27年度に学校等の耐震改修工事が完了するため、その後において、順次、洋式トイレに改修したい。

〔問〕 現状では、学校によってトイレ設備に格差がある。また、各学校には校区があるため、自分たちで学校を選ぶこともできない。このような観点から、学校生活は、本来、みんな同じ環境で学べるのが大事だと思うが、その点はどうか。

〔教育部長〕 気持ちよく学校生活をするために、トイレの整備は非常に重要と認識している。

〔問〕 通学路の安全確保について、どのような方法で危険箇所を把握しているのか。また、どのように対処しているのか。

〔教育部次長〕 保護者などから報告があり、その後、危険箇所を確認し、

警察・道路管理者・教育委員会で対策を検討している。

〔問〕 通学路の安全対策は、どのような取り組みを行っているのか。

〔教育部次長〕 香芝市通学路交通安全プログラムを策定し、計画・実施・検証・改善のPDCAサイクルにより安全確保に努めている。

〔問〕 学校施設以外で、市民が利用するグラウンドなどは、現在、どのような利用状況か。

〔教育部次長〕 平成25年度の稼働率では、総合体育館が77・4%、市民運動場が38・7%、高塚グラウンドが33・6%である。

〔問〕 利用者からは、今までどのような要望や苦情があったのか。また、どのように対応したのか。

〔教育部次長〕 施設の修繕要望や、土日・祝日の利用に関する問い合わせが多く、指定管理者と協議をして修繕などの対応をしている。

〔問〕 施設の利用時間については、なぜ2時間単位なのか。

〔教育部次長〕 多くの方が利用できるように、一日5枠としている。



▲多くの市民が利用する高塚グラウンド

にあたって、地域住民から心配する声もあるが、その点はどうか。

〔地域振興局長〕 地域が活性化する反面、交通渋滞など住環境への影響が考えられる。

〔問〕 大型店舗ができることで、青少年に対する影響については、どのように考えているのか。

〔地域振興局長〕 県の青少年健全育成条例を踏まえて、対応する必要があると考えている。

〔教育部次長〕 青少年が深夜に来店することも考えられるので、注意喚起が必要と考えている。

〔問〕 周辺の交通渋滞も予想されるが、その点はどうか。

〔都市創造部長〕 交通渋滞の対策については、高田土木事務所と調整していきたい。

▼安全・安心のまちづくりについて

〔問〕 東朋香芝病院が休院してから、市内の救急搬送については、どのような状況なのか。

〔福祉健康部長〕 現在は、西和医療センターや高田市立病院などで救急搬送分をカバーしている。

〔問〕 新しく建設される病院については、どのような進捗状況なのか。

〔福祉健康部長〕 現在は用途地域の変更申請中で、今後、開発許可申請や建築確認申請が提出されると考えている。

下村 佳史 議員

▼安心して、やすらぎを感じるこ

とができるまちについて

〔問〕 土砂災害警戒区域の指定箇所は、市内に何箇所あるのか。

〔都市創造部長〕 県の指定箇所は、土石流が41箇所、急傾斜地が48箇所である。

〔問〕 土砂災害警戒区域の指定箇所

で、砂防ダムが設置されているところはありますか。

〔都市創造部長〕 砂防ダムは、関屋地区の原川水系に4箇所と尼寺川水系に1箇所ある。

〔問〕 砂防ダムの建設は、今後、どのように計画しているのか。

〔都市創造部長〕 原川水系に1箇所と尼寺川水系に1箇所を計画しており、尼寺川はすでに測量作業に入っている。

〔問〕 関屋青葉台住宅地の北側は、大規模な開発が行われて危険な区域と思うが、その点はどうか。

〔都市創造部長〕 土砂災害警戒区域に一部指定されており、警報発令時は土石流の注意が必要である。また、土石流などの危険箇所が確認できるハザードマップを今月に配布する予定である。

〔問〕 災害が発生した場合の指定避難所については、現在、どのよう

な状況なのか。

〔市民環境部長〕市内には27箇所の指定避難所があり、そのうち福祉避難所は9箇所である。

〔問〕福祉避難所については、今後も増えていく可能性はあるのか。

〔市民環境部長〕福祉健康部と連携を図り、設置いただけるかを検討していきたい。

〔問〕指定避難所の電気設備やトイレ設備については、現在、どのような状況なのか。

〔市民環境部長〕可搬式の発電機は9台備蓄し、小・中学校などにマシントイレを設置している。

〔問〕避難所の水の確保については、どのように考えているのか。

〔市民環境部長〕給水タンク車による給水や、小・中学校の緊急貯水槽で水の確保を考えている。

〔問〕指定避難所の大坂樟蔭女子大学は、平成27年3月に閉校となるが、新しい指定避難所は、どのように考えているのか。

〔市民環境部長〕引き続き、指定避難所として使えるか協議をしたい。

〔問〕指定避難所や避難するときの経路について、市民への周知はどのように考えているのか。

〔市民環境部長〕広報車や市のホームページ、自治会への連絡や緊急速報メールを考えている。

〔問〕今年、台風が接近したときに、なぜ緊急速報メールを発信しなかったのか。

〔市民環境部長〕当日は、土砂災害警戒区域内で自主避難を呼びかけており、今後は緊急速報メールを検討したい。

▼高齢者福祉の充実について

〔問〕地域包括支援センターは、どのような方法で認知症の予防や支援を行っているのか。

〔健康局長〕認知症の予防教室として、講話や運動指導、また、家族介護教室や認知症サポーター養成講座を開催している。



▲認知症サポーター養成講座の様子

〔問〕認知症対策については、どのような支援をしているのか。

〔健康局長〕認知症を把握するためアンケート調査を実施して、認知症予防の事業案内や通所介護サービスなどを行っている。

〔問〕徘徊SOSネットワークの設置については、どのように考えているのか。

〔健康局長〕地域での見守り体制は重要であり、地域ケア会議で本市にふさわしい形を協議していきたい。

川田 裕 議員

▼規則で定められた選考基準も設けず職員昇任試験を行っている運用不備について

〔問〕職員の昇任試験は、あくまでも法律で定められた行為であり、前回発覚した、現在の運用不備については、今後どのように改めるのか。

〔企画部次長〕現在の勤務評定は、来年度から人事評価に変えていく必要がある、条例や規則、要綱等の整備を進めていきたい。

〔問〕職員の任用に関する規程に、「選考の基準については、市長が別に定める」とあるが、この基準の開示請求を行ったが、「ない」という回答であった。基準がないのどうして選考試験ができるのか。ということ、法令等違反ではないのか。

〔企画部次長〕現在、6級から8級の基準は設けていない。ご指摘の通り基準を設けず行っており、規則等の定めによらずに任命している。

〔問〕法律では選考試験を行うとなっている。前回の答弁で、副市長は「私自身が意見を言って、それが大きく影響を与えている」と答弁していた。それも違法ではないのか。

〔副市長〕「大きく影響を与えている」とは、本人の職歴などを勘案して進言するということである。

〔問〕試験も行わずに昇任する。人の人生も変わる。平等の原則からその認識はどう考えているのか。

〔副市長〕市長を補佐すると認識。

〔問〕では、市長は試験に介入してよいということか。規定では昇任候補者名簿に載せるが、それも無い。これも規則違反じゃないか。

〔企画部次長〕今後は任用委員会を置いて、正確に行ないたい。

〔問〕今でも任用委員会は置く規定になっている。でも置いていないじゃないか。では副市長は一人任用委員会を行っていたのか。また特別職が委員会に入ってはならない。

〔企画部次長〕今後は、人事評価委員会を設けて条例や規則等で定めて公正公平に行ないたい。

▼人口減少に対し香芝市の将来ビジョンについて

〔問〕今後の子育て支援プランは。〔副市長〕学校などを利用し、子育てしやすい環境を作りたい。

〔問〕公立幼稚園の保育料大幅値上げ条例は、法令等違反ではないか。〔教育長〕今後検討したい。

※最終日に議案の撤回を承認。

▼請願可決の取り組みについて

〔問〕精神障害者医療費助成制度の適用対象に関する請願書は、12月2日に議員の全会一致で採択されたので、1級と2級に、来年4月から医



療費を助成するのが当然だが。

〔福祉健康部長〕 来年4月から1級の助成は考えているが、2級は今年度中に再度検討したい。

〔問〕 奈良県知事も、2級の医療費の助成を行うという決断をされており、システムや財政上の問題がなければ、採択された申請を先延ばしする理由が見当たらない。また、県内のすべての町村はすでに対応をされているので、できないということはある得ない。本市は、いつから2級の助成をしていくのか。

〔福祉健康部長〕 対象者や家族の気持ちは十分に理解できるが、精神障害の等級を決める判定のシステムは、どうしてもばらつきがあると思うので、もう少し明確な判断基準があればと考えている。

〔問〕 では、県は十分検討もせずに2級まで決定したということか。

もし、精神障害等級を決める判定のシステムに、ばらつきがあるというのであれば、その点について修正をすればよいだけじゃないか。

今回の申請は採択・議決している。1級と2級の医療費助成については、来年4月から実施すべきだが、その点の答弁をいただきたい。

〔福祉健康部長〕 申請は十分に重く受け止めている。来年の3月までにきっちり決めていきたい。

奥山 隆俊 議員

▼災害医療について

〔問〕 災害は、自然災害と人為災害に大別できると思うが、その違いはどのように考えているのか。

〔市民環境部長〕 自然災害は、豪雨や地震などの自然現象による災害で、人為災害は、人為的な要因による災害である。

〔問〕 大災害が発生した場合に、総合的な見地から医療面において、何が必要と考えているのか。

〔市民環境部長〕 状況を把握するとともに、災害対策本部と消防署、市内外の医療機関などとの連携による対応が必要である。状況によって、DMAT（災害派遣医療チーム）の要請も必要である。

〔問〕 大災害の発生後、市内がある程度落ち着いてきた場合は、どのような対応が必要になるのか。

〔市民環境部長〕 医療機関などの機能が回復すれば、感染症予防の消毒や予防接種、被災者のメンタルヘルス対策などが必要である。

〔問〕 大災害の発生に備えて、市内の医師会とは、どのような協議を行っているのか。

〔福祉健康部長〕 医師会や歯科医師会、薬剤師会で災害医療チームを結成し対応するよう協議している。

〔問〕 災害による重篤患者の救命医療や、高度の診療機能がある災害拠点病院との連携については、どのようなになるのか。

〔福祉健康部長〕 県内に、基幹型災害拠点病院1箇所と地域災害拠点病院6箇所があり、本市は、大和高田市立病院と連携することになる。

〔問〕 DMATの派遣要請は、どのような方法で行うことになるのか。

〔福祉健康部長〕 県に対して派遣要請を行い、県が効果的と認めた場合に指定病院に出勤を要請する。

〔問〕 県が効果的と認めるときとは、どのようなケースなのか。

〔福祉健康部長〕 災害発生後、48時間以内であれば効果があると考えている。

〔問〕 今までに他府県から要請を受けて、奈良県のDMATが派遣された事例はあるのか。

〔福祉健康部長〕 東日本大震災に4チーム、紀伊半島の大水害に1チームが派遣されている。

〔問〕 臨時医療施設など、広域で医療搬送の拠点となる施設の整備や施設の誘致について、どのように考えているのか。

〔福祉健康部長〕 県では広域医療体制の確立は認識されており、本市でも検討していきたい。

▼学童保育について

〔問〕 現在、学童保育で保護者が直面している問題は、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕 小1の壁という転換期があると認識している。

〔問〕 学童保育所の待機児童は、現在、どのような状況なのか。

〔教育部次長〕 二上学童保育所で、12名の待機児童がでている。

〔問〕 学童保育所は3年生まで入所できるが、4年生以上の保護者の思いについては、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕 4年生以上は預け先がないので、保護者の不安は大きいと認識している。

〔問〕 学童保育所の終了時間が、家庭の就労などに影響を与えていると思うが、その点はどうか。

〔教育部次長〕 保護者の就労を支援することは、子どもの精神的安定につながるかと考えている。

〔問〕 学童保育所を民間に委託することは、どう考えているのか。

〔教育部次長〕 保護者ニーズに迅速に対応できるのであれば、民間委託も必要と考えている。



▲二上学童保育所



中井 政友 議員

▼市役所の窓口業務委託実施について

〔問〕今年10月から、複数の窓口で業務の委託を行っているが、どのような業務をしているのか。

〔企画部次長〕市民課は、住民票等の証明書発行業務。市民衛生課は、ごみ自己搬入等の証明書発行業務。税務課は、所得証明等の証明書発行業務など、現在は9課で窓口業務を実施している。

〔問〕窓口の業務を委託しているのは、どのような理由なのか。

〔企画部次長〕民間のノウハウと市民の利便性の向上、事務の効率化などを総合的に判断し実施している。

〔問〕窓口の業務委託は、どのような方法で事業者を決定したのか。また、何社の応募があったのか。

〔企画部次長〕プロポーザルにより事業者を決定した。また、応募については最終的に2社であった。

〔問〕委託事業者の雇用状況について、その内容は把握しているのか。

〔企画部次長〕委託事業者の雇用関係については把握していない。

〔問〕窓口の業務委託については、どのような形で何人が配置されているのか。

〔企画部次長〕常勤と非常勤をあわ

せて28名が業務にあたっている。

〔問〕各課の窓口の状況によっては、今後、委託している人数が変動することもあるのか。

〔企画部次長〕繁忙期の窓口には、多くの人員を充ててもらうことは可能と考えている。

〔問〕民間の事業者による業務委託をするという事は、プライバシーに関わる問題がでてくると思うが、その点はどのように考えているのか。

〔企画部次長〕事業者の選定では、プライバシーマーク等の取得も確認しており、契約において個人情報の保護に十分配慮している。

〔問〕市役所のパソコンは、IDやパスワードで使った人が誰かわかるようになってきているのか。また、ファックスについてはどうか。

〔企画部次長〕使った人の特定はできるようになっており、委託先の職員にもIDやパスワードを与えている。また、ファックスは正職員が送信を行っている。

〔問〕窓口業務を行っている委託先の職員が、申請者が本人であるかどうかの確認や、申請書に加筆などを求めることもあるのか。

〔企画部次長〕委託先の職員は、窓口で申請者に書類を渡す業務などを行っている。

〔問〕証明書の手数料など、公金の

取り扱いについては、私人の取り扱い制限があると思うが、その点はどのように考えているのか。

〔企画部次長〕公金の取り扱いについては、契約書に明記し告示を行っている。また、窓口に告示文を掲示して、レシートには会社名を明記している。

〔問〕国保医療課や介護福祉課では、個人の疾病に関する資料などがあると思うが、窓口の業務委託にあたって、プライバシーの遵守については、どのように考えているのか。



▲国保医療課の窓口のようす

個人情報の取り扱い、契約書に明記して厳正に対処している。

〔問〕財産調査や公金を取り扱う納税促進課においては、どのように考えているのか。

〔総務部次長〕財産調査などは正職員が業務を行っており、委託先の職員は窓口の補助業務をしている。

〔問〕今後の業務委託について、方向性はどのように考えているのか。

〔企画部次長〕市役所全体の業務バランスを考えて、可能なものについては委託していきたい。

河杉 博之 議員

▼市民サービスの向上について

〔問〕市民課では、総合窓口の一元化に近いような形で各種の業務を行っているが、現在はどのような業務を行っているのか。

〔企画部次長〕現在は、住民票の異動手続きをするときに、証明書などの発行業務や医療証などの発行業務を行っている。

〔問〕現在は、庁内のクラウド化によって、担当課でデータが共有されていると思うが、例えば、社会保険から国民健康保険への切り替え手続きを、市民課の窓口ですることはできるのか。

〔市民環境部次長〕複雑な事務手続きについては、担当課で行うことになるため、市民課では、住民異動に伴う保険証などの発行業務を行っている。

〔問〕市民課の窓口で、住民異動に伴う保険証などの発行業務ができるということですが、市民の方に対して、どのようにPRを行っているのか。

〔市民環境部次長〕今年10月か



▲市民課の窓口のようす

して、総合福祉センターの事務業の一部ができるということを広報紙で告知している。

〔問〕市民課の窓口で、ほとんどの業務ができるというような案内板については、庁舎内に設置していないのか。

〔市民環境部次長〕 今後は、わかりやすい案内板を設置していきたいと考えている。

〔問〕保育所や小学校に通う子どもがいる世帯であれば、市役所へ住民票の異動手続に来られたときに、一つの窓口で、すべての手続きをすることはできるのか。

〔福祉健康部次長〕 保育所の入所手続は、現在、総合福祉センターの担当課へ来ていただいている。

〔教育部長〕 小学校の手続は、住民票の異動手続のときに、自動的に学齢簿が登録されるが、特に相談したい事項があれば担当課へ来ていただいている。

〔問〕市民の方が、住民票の異動手続に来られたときに、保育所の入所手続きなどで、直接担当課に行くことが、本来の市民サービスと考えているのか。

〔福祉健康部次長〕 保育所の入所手続きでは、様々な事情を聞き、説明する必要があるため、市民の方には担当課へお越しいただいている。

〔問〕市民サービスの向上については、再度、市役所全体で検討をお願いしたいと思うが、その点についてはどうか。

〔企画部次長〕 今後は、各所属と調整しながら進めていきたい。

〔要望〕 市民目線から、市民サービスの実現をお願いしたい。

▼市民協働について

〔問〕最近ではチャッター店舗や空き家などが増えているが、その対策と活用方法については、どのように考えているのか。

〔地域振興局長〕 今後は空き家などを活用して、地域活動の拠点づくりが必要と考えている。

〔問〕市の活性化のために、行政が空き家や空き室などを斡旋して、地域の拠点づくりとして応援することはできないのか。

〔地域振興局長〕 現時点では検討していない。

〔問〕本市に根付くような方法で起業の研究を行って、地域の活性化も検討してもらいたいですが、今後のバックアップ体制については、どのように考えているのか。

〔市長〕 これまでも市の商工会とタッグを組んで、起業家塾などを実施しており、今後も担当部局と相談して、積極的に起業をサポートしていきたい。

福岡 憲宏 議員

▼公共施設の資産管理について

〔問〕公共施設の資産管理のために、施設性能評価シートを作成するが、これはどのようなものか。

〔総務部次長〕 公共施設の利用度や劣化状況、修繕履歴などを記載したものである。

〔問〕施設性能評価シートを作成して、具体的に何を判断していくことになるのか。

〔総務部次長〕 規模や用途が同じ施設の比較ができるため、今後の施設の方を検討する資料になる。

〔問〕今後においては、市民ニーズを考慮して、経営感覚を取り入れた資産管理が必要と思うが、その点はどう考えているのか。

〔総務部次長〕 今後は、既存施設を有効活用し総合的に管理したい。

〔問〕今後の公共施設の補修や修繕費用については、どのように考えているのか。



▲市民が集うモナミホール

〔総務部次長〕 1年間の平均的な更新費用は23億円と想定している。

〔問〕道路や橋脚について、更新費用は計算しているのか。

〔都市創造部長〕 適切な時期に修繕を行うことで、50年間の総額19億円が7億円程度になる。

〔問〕公有財産活用検討委員会では、現在、どのような検討を行っているのか。

〔総務部次長〕 今後の公共施設等総合管理計画は報告しているが、活用等はまだまだ検討していない。

〔問〕同計画の策定では、市民の方と課題や情報を共有する必要がありと思うが、その点はどうか。

〔総務部次長〕 今後は市民の意見も取り入れていきたい。

〔問〕公共施設の活用では、庁舎内で新たな組織を検討したいと提案されていたが、その点はどうか。

〔市長〕 来年度に検討をしたい。

▼アレギー対策について

〔問〕アナフィラキシーショック症状を和らげるために、エピペンを持っている児童は何名いるのか。

〔教育部長〕 幼稚園が1名、小学校が6名、中学校が1名である。

〔福祉健康部次長〕 保育所は1名である。

〔問〕エピペンの使用にあたって、救急搬送まで適切に対応できるように研修は行っているのか。

〔教育部長〕 学校では、緊急時の対応などを研修している。

〔福祉健康部次長〕 保育所は、アレ

ルギー対応などを研修している。  
**〔問〕** アレルギー教育については、どのように行っているのか。

**〔教育部長〕** 学校では、プライベートシーを尊重し各学級で対応している。

**〔福祉健康部次長〕** 保育所は、アレルギーをわかりやすく教えている。

**〔問〕** 災害時の非常食について、アレルギー対策はどのように考えているのか。

**〔市民環境部長〕** 今後は、食物アレルギーのサインプレートを整備したいと考えている。

**▼平成21年に採択された香芝市学童保育所に関する請願書について**

**〔問〕** この請願書が採択されて、どのように取り組んできたのか。

**〔教育部長〕** アンケート調査などを行い、閉所時間を延長してきた。

**〔問〕** 今年の9月議会で、国に準じて6年生まで受け入れる条例提案をされたが、当時の6年生まで受け入れるという請願については、無視されたことになるのか。

**〔教育部長〕** これまででは公共施設の活用や増築などを検討してきた。

**〔問〕** この採択された請願書について、前市長からの引き継ぎはなかったのか。

**〔市長〕** 請願ということではなく、事業の懸案事項だったと記憶している。

池田 英子 議員

**▼合同での中学校給食センターについて**

**〔問〕** 香芝市と広陵町と共同で、中学校給食センターを広陵町に建設するということであるが、もし災害が起きた場合、自校方式であればすぐ対応できるが、道路が寸断された場合の対策はどのように考えているのか。

**〔教育部次長〕** 広陵町の候補地は本市と隣接しており、縦横に国道

165号線、

168号線、

中和幹線が

通っている

ため、いず

れかのルー

トで供給で

きると考え

ている。



▲広陵町・香芝市共同中学校給食センターの候補地（広陵町三吉）

**〔問〕** その対応で100%とは思えない。中学校給食センターは本市で建設すべきであると思うがどうか。

**〔教育部次長〕** 国道は災害時の緊急輸送路にも指定されているので、その道路が使用できなくなるといふことは想定していない。

**〔問〕** 香芝消防署西側で給食センターの建設を断念したあと、自校方式という考えはなかったのか。

**〔教育部次長〕** 平成24年度の給食実施検討委員会で、センター方式が望ましいとの意見があり、変更は考えていない。

**〔問〕** 広陵町との共同化の協議までどのような経緯であったのか。

**〔教育部次長〕** 市長部局と協力し、候補地を三箇所選定し、調査を行っている際、広陵町から共同化の話があった。

**〔問〕** 市内の三箇所の候補地の中で、給食センター建設の可能性はあったのか。

**〔教育部次長〕** 用地交渉は難しく、時間もかかる。一日でも早く中学校給食を実現させるために、広陵町との共同化を進めていきたい。

**〔問〕** 給食センターではアレルギー対応をどのようにするのか。

**〔教育部次長〕** アレルギー対応の専用調理室を設けて、専任のスタッフを配置する予定である。

**〔問〕** O157などの感染症が発生した場合、被害が広がると考えるがどうか。

**〔教育部次長〕** 消毒等の徹底、ドレイ方式の採用、汚染作業区域や非汚染作業区域の明確な分離など、センターの設計において、学校給食衛生管理基準を十分満たすよう整備を行いたい。

**▼総務企画委員会の視察について**

**〔問〕** 本市の土地建物の保有状況は、どのようになっているのか。

**〔総務部次長〕** 平成25年度末では、土地は112万㎡、建物は93施設、338棟を保有しており、築20年以上の割合が全体の77%を占めている。

**〔問〕** 本市のファミリーティーマネジメントの取り組みは、どのように進めていくのか。

**〔総務部次長〕** 平成27年度に建物の中長期保全計画を策定し、平成28年度に施設の統廃合を検討した再配置計画や、インフラ資産の長寿命化基本計画を定め、平成29年度から実行していく。

**▼観光プロジェクトについて**

**〔問〕** 香芝市の観光資源について、どのような状況か。

**〔地域振興局長〕** どんづる峯など歴史的价值のあるものも多いが、ほとんどが未整備であり今後の課題である。

**〔問〕** 今後、どのような観光事業を計画していくのか。

**〔地域振興局長〕** 例年開催している香芝ウォークや地元商店の協力で開催する物産展、また2月に開催する産業展など地域の食、産業、文化にふれ、香芝市の魅力を知っていただけるような情報を発信していきたい。



中村 良路 議員

▼本市で様々な分野で活躍する人について

〔問〕これまで地元出身の選手を、パブリックビューイングで応援したことがあるのか。

〔教育部次長〕パブリックビューイングについては、文化、スポーツとも実施した事例はないが、2002年日韓開催のサッカーワールドカップに榑崎選手が出場した時は、ふたかみ文化センター1階ロビーにてテレビ観戦ができるスペースを設けたという事例はあった。

〔問〕市の活性化や知名度を上げるために、地元代表で出場している選手を応援すべきだと思うが、本市市民がオリンピックなどの国際大会に出場した場合、パブリックビューイングを実施する考えはあるのか。

〔教育部次長〕実施にあたっては、著作権によりライセンス料が必要なものもあるが、本市の文化、スポーツ発展のため、今後検討していきたい。

〔問〕今後は、多くの市民とともに応援できる方法を考えていただきたいが、今まではパブリックビューイング以外では、どのような方法で応援していたのか。

法で応援していたのか  
〔教育部次長〕懸垂幕や横断幕を設置した。

〔問〕香芝市文化スポーツ大会出場奨励金は、どのような団体に交付されるのか。

〔教育部次長〕国際大会及び全国大会に出場する市民、または市内に通学する児童、生徒・団体を対象に交付している。

〔問〕文化スポーツ活動の奨励と振興をはかるため、特例で認められる大会や個人、団体はあるのか。

〔教育部次長〕特例としては国内の協会や連盟が主催する以外の大会でも、例えば、今年ダブルダッチ世界大会で優勝した児童たちは対象となる。

〔問〕この奨励金の申請はどのようなにするのか。また、大会出場による成績は市で把握しているのか。

〔教育部次長〕奨励金は本人の申請により交付する。大会出場による成績は、市で情報収集しているが把握は難しい。

〔問〕文化・スポーツで優秀な成績をおさめた個人・団体が、競技や演技を披露する場所づくりについて、どのように考えているのか。

〔教育部次長〕市や関係団体のイベントに参加をお願いしており、今後も企画を考えていきたい。

▼市の図書の返却について

〔問〕現在近鉄五位堂駅、二上駅、JR志都美駅に図書返却ポストが設置されているが、どういう経緯で設置したのか。

〔教育部次長〕近鉄五位堂駅は急行停車駅で最も乗降客が多く、貸出冊数も多い。また、近鉄二上駅は五位堂駅に次いで乗降客や貸出冊数が多いため設置した。JR志都美駅は地域の公平性に留意し、登録者の多い旭ヶ丘居住者の利用を考慮し、決定した。



▲JR志都美駅に設置された図書返却ポスト

〔問〕近鉄関屋駅に、なぜ設置しないのか。

〔教育部次長〕乗降客数と図書館の利用状況を二上駅と比較し調査した結果、設置には至らなかった。

〔問〕関屋地区は高齢者も多く、山間部で坂道が多い。公共サービスの公平性から関屋駅に返却ポストの設置が必要と思うが、その考えはあるのか。

〔教育部次長〕返却ポストの新たな設置は、費用や図書回収の職員の問題があるが、今後前向きに検討していきたい。

関 義秀 議員

▼二上地区の教育・保育の環境について

〔問〕二上小学校の児童数の増加について、今後の推移をどのように予想しているのか。

〔教育部長〕平成26年5月現在825名で、5年後には878名まで増え、その後減少すると予想している。

〔問〕平成17年に予想したピーク時の児童数は735名であった。今後さらに増える可能性もある。施設整備や安全対策をどのように考えているのか。

〔教育部長〕施設の老朽化対策、児童数の増加に伴う環境改善等、逐次対処していきたい。

〔問〕二上小学校の校舎は、予測を越えた児童数の増加により、複雑に増築され、さらに隣接する国道の騒音もひどく、防音壁も老朽化している。正常な授業環境のため、各教室にエアコンを設置する必要があると思うが、その考えはあるのか。

〔教育部長〕二上小学校は建物の構造上、エアコンが必要な教室には既に設置が完了している。他校の状況等を踏まえて優先度の高いものから検討していきたい。

〔問〕二上小学校の通学路について

大変狹隘で、極めて危険であるが、どのように考えているのか。

〔教育部長〕道路担当部局との協力です。これまで拡幅を進めてきた。今後とも周辺住民の協力を得ながら、通学路の安全確保に努力していきたい。



▲二上小学校の通学路のようす

〔問〕市民の生活、通学路の安全を最優先に考えて、率先して拡幅整備するべきだが、どのように考えているのか。

〔都市創造部次長〕道路の拡幅については、都市計画道路事業の中で、自治会と協議、相談しながら進めていきたい。

〔問〕二上幼稚園の通園路は1ルートだけであるが、災害時の避難路はどのように考えているのか。

〔都市創造部次長〕通園路は自治会の要望により、現在、土地所有者と用地交渉を行っており、来年度には工事に入る予定である。

〔問〕二上保育所の災害時の避難経路は、どのように考えているのか。

〔福祉健康部次長〕二上保育所の西側の農地、または南西側通路の2箇所の緊急時の避難ルートがあり、避難訓練も行っている。

▼土砂災害について

〔問〕本市には危険な土砂災害危険区域が何箇所あるのか。

〔都市創造部次長〕本年8月に奈良県知事の告示により、崩壊の危険がある急傾斜地や土石流のおそれがある地域等、土砂災害警戒区域が市内89箇所指定され、その8割が市の西部の山間部にある。

〔問〕土砂災害警戒区域に指定された地域の市民に、危険であることなどをどのように周知しているのか。

〔都市創造部次長〕地元自治会に説明を行っており、今月には洪水土砂ハザードマップを全戸配布の予定である。

〔問〕今年台風11号、18号、19号と相次いで接近したが、どのように対応したのか。

〔市民環境部長〕気象情報の収集、市内危険箇所の巡回、自主避難所の開設等に取り組んだ。また、自治会へ情報提供を行うとともに、土砂災害警戒区域の自治会へ災害時要援護者への対応等の協力依頼を行った。

〔問〕今後、市民の生命と安全を守るため、どのように取り組むのか。

〔市民環境部長〕平常時の備えや訓練に努めるとともに、自治会や自主防災組織、警察署等とより一層連携を図り、安心安全なまちづくりを推進していきたい。

細井 宏純 議員

▼小規模校（鎌田小学校）と過大規模校（旭ヶ丘小学校）について

〔問〕本市の小学校は、児童数が200人の小学校や1400人近くの小学校があり、格差が7倍となっている状況について、都市計画の観点からはどのような見解であるのか。

〔都市創造部長〕鎌田校区と旭ヶ丘校区における人口比率や面積比率から推測すると、人口密度の差はあまりないが、旭ヶ丘校区内の区画整理事業により若い世代が移り住まれた結果であると考える。

〔問〕旭ヶ丘小学校では現在



▲旭ヶ丘小学校

も大規模校のままであるが、都市計画問題はないのか。

〔都市創造部長〕旭ヶ丘区画整理事業は昭和58年に都市計画決定し、組合施行で事業が進められ、健全な市街地形成の役割を果たしており問題はないと考えている。

〔問〕学校教育法施行規則等では、一つの小学校の学級数が12以上18

以下、そして通学距離は4キロ以内が適正としているが、適正外の場合は国庫補助金の算定など財政面で不利はあるのか。

〔教育部長〕義務教育施設の国庫負担に関する法律の中で、特に差を設けているというのではない。

〔問〕小規模校と過大規模校の存在は、市として適正な状態であるとはいえないという認識はあるのか。

〔教育部長〕国が示している適正な規模が、一つの基準となっているのは事実である。

〔問〕全国的に少子化が進み、市では過大規模校と、小規模校と両方の対策が必要と思うがどのように考えているのか。

〔教育部長〕過大規模校と小規模校のそれぞれの特徴に対して、学校ごとに対応している。

〔問〕これまで教室が不足した場合、すぐに増築で対応してきた。その結果、児童数の減少により、将来空き教室が増えることになる。財政面から他の方法で対応できないのか。

〔教育部長〕他の方法での対応は考えていない。統計上では、児童数は減少傾向にあるが、さほど影響はない。

〔問〕養護教諭の配置について、児童数に応じて一人または二人配置しているが、健康診断などの繁忙



期に小規模校の養護教諭が、仕事量の多い他の大規模校に支援することは可能なのか。

〔教育部長〕 養護教諭は、本来の職務以外にもいろいろな業務を持っているため、手助けすることは難しい。

▼子宮頸がんワクチンの副反応(副作用)について

〔問〕 厚生労働省から子宮頸がんワクチンのリスクの告知があったが、市民や医療機関に対しては周知しているのか。

〔福祉健康部次長〕 広報紙やホームページで、ワクチン接種の積極的勧奨の差控えを掲載した。

また、医療機関には医師会を通じて説明している。

〔問〕 本市の保健センターに、ワクチンの接種後の副反応の相談があったのか。

〔福祉健康部次長〕 身体がだるいなど約3名の相談があった。

〔問〕 平成21年にワクチンが承認され、平成23年に任意の予防接種になり、平成25年に定期予防接種に承認されている。薬やワクチンについてはこのように短い期間で承認されることはないと思うが、その点はどうのように考えているのか。

〔健康局長〕 早くから研究に取り組み、効果が認められれば、感染症の流行等に鑑みて承認されると思う。

中山 武彦 議員

▼地域防災対策について

〔問〕 平成26年11月に土砂災害防止法が改正されたが、基礎調査や区域指定、避難情報の発令方法など本市での取り組み状況と、どのような課題があるのかをお聞きしたい。

〔都市創造部次長〕 本市の土砂災害警戒区域指定はすでに完了し、12月にハザードマップを配布し周知をはかる予定であるが、災害時に市民に対して的確な避難情報発信するための判断材料や情報が乏しいことが課題である。



▲配布されたハザードマップ

〔問〕 土砂災害警戒区域以外でも、危険箇所調査や相談があれば応じてもらえるのか。

〔都市創造部次長〕 状況に応じて必要であれば県に対して再調査の協議を行うが、必ずしも警戒区域の追加指定がされるものではない。

〔問〕 今まで本市では大きな災害はないが、今後予測される災害についてどのように考えているのか。

〔市民環境部長〕 最も大きな被害をもたらす可能性のあるのは、中央構造線断層帯による地震で死者約150人、負傷者850人、避難者2万2千人、断水・停電とも約2万世帯と被害が予想される。

他に東南海・南海地震や台風や集中豪雨による風水害、河川の氾濫による被害等である。

〔問〕 広島県の集中豪雨被害について、情報の見落としによる避難勧告の遅れがあったということだが、本市の警報発令時の情報伝達はどのように行うのか。

〔市民環境部長〕 自治会や自主防災組織へ電話やファクスで連絡し、報道機関への情報提供、また広報車での広報や緊急速報メール、ホームページへの掲載などで周知する予定である。

〔問〕 L(エル)アラートというテレビ、ラジオと情報を共有できるシステムがあるが、本市で導入する考えはあるのか。

〔市民環境部長〕 L(エル)アラートは奈良県が導入を検討しており、県と共同で協議していきたい。

〔問〕 障害者や高齢者の避難体制はどのように取り組んでいるのか。

〔市民環境部長〕 各自治会に、要援護者に対する支援者の確保や防災訓練の実施をお願いしている。今後、

さらに自主防災組織の活動支援をしていきたい。

〔問〕 災害時のペットの救護対策について、どのように考えているのか。

〔市民環境部長〕 今年度、地域防災計画の見直しを行っているので、十分検討していきたい。

▼動物愛護について

〔問〕 動物愛護のため、終生飼育の推進、アニマルポリス、保健所の殺処分ゼロに対する取り組みが必要であると思うが、どのように考えているのか。

〔市民環境部次長〕 動物愛護週間が9月20日から26日まで定められており、ポスター等で周知をしているが、特段の取組みは行っていない。

〔問〕 一人暮らしの高齢者が施設へ入所の際、ペットをやむなく保健所へ持つていくケースがある。動物病院、愛護団体、保健所で里親づくりのネットワークをつくることは可能か。

〔市民環境部次長〕 市では、NPO活動など他の事例などについて研究していきたい。

〔問〕 本市では地域猫(野良猫)を増やさないうために、不妊・去勢手術の補助金を出す考えはあるのか。また、市民からの寄附金でそれを事業化できないのか。

〔企画部長〕 市民提案型の補助事業の対象となると考える。



上田井 良二 議員

▼猛暑対策について

〔問〕今年度、小中学校ではどのような暑さ対策を行ったのか。

〔教育部長〕今年度は扇風機を18台購入し、各小中学校に設置した。

〔問〕昨年度

と今年度は、熱中症にかかった児童生徒は何名であつたのか。

〔教育部長〕

救急車の要請は平成25

年度で3名、今年度は1名である。



▲各小・中学校に設置された扇風機

〔問〕暑さ対策として各教室にクーラーを設置する考えはあるのか。

〔教育部長〕平成28年度の公共施設等総合管理計画の策定に合わせて、学校の改修計画の中で空調設備の整備計画を作成していきたい。

〔問〕平成28年度にクーラー設置工事をを行うには、いつごろから国への補助金申請などを開始するのか。

〔教育部長〕本年度より補助金申請の概算要望を行い、来年度には本要望を行っていく予定である。

〔問〕災害発生時の避難所として使用するため、普通教室、だけでなく体育館にもクーラーを設置する

考えはあるのか。

〔教育部長〕普通教室、特別教室への設置を考えている。

▼教育支援について

〔問〕不登校などの悩みを持つ保護者や児童生徒に対して、どのような支援をしているのか

〔教育部長〕市内中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者が相談できるようにしている。また、市教育委員会では生徒指導支援室が窓口として指導主事等による相談を受けている。

〔問〕児童生徒や保護者は不登校などの悩みについて、担任教員へ相談する場合が多いが、教員はしっかりと相談を受ける体制にあるのか。

〔教育部長〕各学校に教育相談担当の教員がおり、さまざまな相談に關する情報を発信している。

〔問〕教育委員会や子ども支援課で受けた教育相談の件数は何件か。

〔教育部長〕平成23年度は348件、平成24年度は343件、平成25年度は335件とほぼ横ばいである。

〔問〕教員は、不登校の子どもを持つ保護者の相談を受ける体制づくりはどのように考えているのか。

〔教育長〕教員は免許を取得時、心理学の勉強もしており、現在も研修を行っている。保護者の相談を受け体制をしっかりと取って行きたい。

〔問〕スクールソーシャルワーカーは何名配置しているのか。また、増員する予定はあるのか。

〔教育部長〕生徒指導支援室に1名配置しており、増員の予定はない。

〔問〕青少年センターで開設している適応指導教室の「すみれ学級」は、現在どのような体制なのか。

〔教育部長〕小学生が1名、中学生が10名通っており、2名の指導員を配置している。

〔問〕今後、指導員を増員して、児童生徒の受入れを増やす考えはあるのか。

〔教育部長〕児童生徒数は横ばいで、増員の予定はない。

〔問〕子どもの不登校に悩む保護者のため、カウンセラーが家庭へ訪問して、相談を受けるような考えはあるのか。

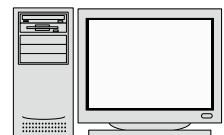
〔教育部長〕ハートフレンド訪問指導事業という、大学生などが家庭を訪問し、悩み等を聞く支援事業があり、引き続き実施していく。

〔問〕相談窓口に行くのではなく、「おうちの公園」のように、井戸端会議のように話ができる場を作ってほしいがどうか。

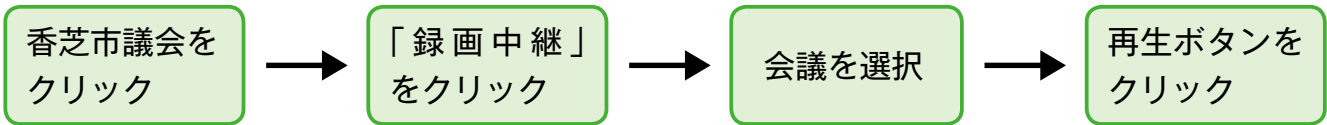
〔教育部長〕保護者と臨床心理士等と話す場として、年3回保護者ネットワークの集いを開催しており、引き続き実施していきたい。

本会議の録画中継の配信を開始しました

本会議の録画中継のインターネット配信を開始しましたので、ぜひご覧ください。



香芝市のホームページからの閲覧方法



※映像は「会議名」、特に一般質問については「議員名」、または、「会派名」でも検索が可能です。

録画中継配信サイト URL : <http://kashibashigikai.media-streaming.jp/>

平成27年3月定例会会期(予定)

月	日(曜日)	会議名
3	3日(火)	本 会 議
	5日(木)	総務企画委員会
	6日(金)	福祉教育委員会
	9日(月)	建設水道委員会
	11日(水)~13日(金)	予算特別委員会
	18日(水)~20日(金)	一 般 質 問
	25日(水)	本 会 議

※正式な会期・日程案は、2月17日の議会運営委員会で決定されます。  
(議会運営委員会で日程変更される場合があります)

香芝市議会情報のご案内

本会議（一般質問など）や常任委員会などの会議録の検索、本会議の録画中継、議案の議決結果、議員紹介、議会改革のあゆみ、傍聴の手続きなど、香芝市議会の情報を幅広くご覧いただけます。

<http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/>

議会を傍聴しませんか

傍聴を希望される方は、市役所5階議会事務局で傍聴人受付簿に、住所、氏名、年齢の記入をお願いします。  
(議場の定員は44名です。)



※本会議の状況は、庁舎1階ロビーのモニターでも、ご覧になれます。

平成26年

- 11月
  - 21日 議会運営委員会
  - 28日 奈良県広域消防組合議会

● 12月

- 2日 本会議
- 4日 総務企画委員会
- 5日 福祉教育委員会
- 8日 建設水道委員会
- 9日 決算特別委員会
- 15、16日 一般質問
- 18日 本会議

平成27年

- 1月
  - 15日 臨時会
  - 27日 議会だより編集委員会

● 2月

- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 奈良県市議会議長会局長会
- 10日 全国高速自動車道市議会協議会
- 16日 奈良県市議会議長会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 葛城地区清掃事務組合議会
- 19日 香芝・王寺環境施設組合議会
- 20日 葛城広域行政組合議会

議 会 日 誌

編集後記

梅の花もほころびはじめ、春の気配を少しずつ感じられる頃となりました。表紙は、昨年11月の各常任委員会の視察研修の様子です。

先進地の事例を調査研究し、市政運営に役立てることを目的に、市の担当部長とともに研修してまいりました。詳しい内容は、議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

さて昨年12月より、本会議のインターネット録画を開始しています。傍聴に来られない方などは、本会議の映像をパソコンやスマートフォンで、いつでもどこでも見られるようになりました。

今後におきましても、議員一同がさらに気を引き締めて、取り組んでいきたいと思っております。

3月の定例会では、常任委員会や一般質問のほか、新年度の予算を審査する予算特別委員会も開催されますので、是非傍聴にお越しください。

ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

(問合せ)TEL 77-8221

議会事務局内

議会だより編集委員会

- 委員長 中川 廣美
- 副委員長 中村 良路
- 委員 小西 高吉
- 〃 奥山 隆俊
- 〃 池田 英子
- 〃 上田井 良二